

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスひまわり		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	余暇スペースの十分な確保。	読書やお絵描きなどが好きな利用者、ホールで元気に遊びたい利用者などそれぞれのニーズに合わせて部屋を分けることが出来るので、充実した余暇時間を過ごすことができる。	職員の役割分担強化。ニーズに合ったサービス提供に努めていく。
2	将来の向けての自立支援活動の強化。	食育など自立支援の機会を提供。また、職業体験の実施や、希望する職業の作業内容を早期段階で習得し、将来の視野を広げられるよう支援を行っている。	職業体験など受け入れの幅を広げていくため、地域事業者との連携強化。利用者のニーズに合わせた職業体験の実施を行っていく。
3	基本的な生活習慣の取得。	排泄、入浴、着脱など苦手な利用者に対して基本的な生活習慣の取得を目指す。	利用者の自己肯定感を向上させるため、スモールステップの目標設定を行い、職員全員で「チームで力を合わせる」を意識する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所敷地内での外遊びのスペース確保。	事業所が住宅街及び道路沿いにあるため、敷地内での外遊びが難しい。	ネットなどの柵を立てることで、ボール遊びができるように環境整備をすることで、外遊びができるように対策する。
2	職員の専門性の強化。	研修等は実施しているものの、職員個人の専門性理解にばらつきがみられる。	職員一人一人のニーズに応じた研修会の実施を行い、職員間でのコミュニケーション力の強化。ロールプレイなどを多く取り入れ、チームで事例検討を行い、都度助言をする。
3	利用者の年齢層が幅広いため、ニーズの違いが発生してしまう場合がある。	低学年と中学生の場合、余暇時間や療育内容のニーズにズレが見られる。	勉強時間は部屋を分けるなどの対策を行い、利用者個々が過ごしやすい環境づくりに努める。また、集団療育などを通して、違う年齢の利用者とのコミュニケーションを深める。